



## 研究データ管理の最前線を、地方大学の実践へ繋ぐ

この度、研究データエコシステム東北コンソーシアムの、第2回シンポジウム開催の運びとなりました。本シンポジウムは二部構成で開催します。第一部「海外派遣から見た研究データ管理の現在地」では、昨年10月オーストラリアで開催された国際会議や現地研究機関への派遣事業参加者等による報告会を行い、研究支援職が海外へ赴く意義を共有します。あわせて、鹿児島大学の船守美穂先生より、国際会議の最前線から見る研究データ利用の取組みについてご講演いただきます。第二部では、船守先生にご紹介いただく鹿児島大学での実践事例をもとに、情報交換会を実施します。地方大学が抱える課題を共有し、実効性のある推進方法をともに議論しましょう。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ハイブリッド開催

オンライン: zoom配信(第一部のみ)

オンサイト: TKPガーデンシティPREMIUM仙台西口 ホール8B

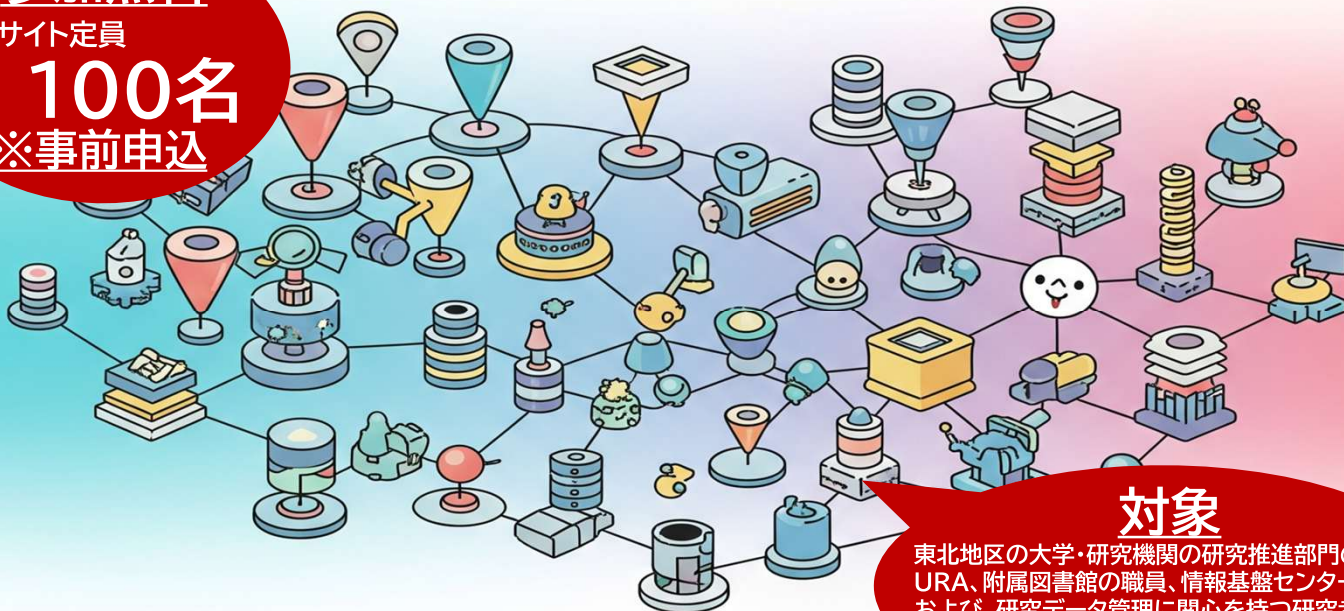
宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ 8F

<https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-sendai-nishiguchi/access/>

参加無料

オンサイト定員

100名  
※事前申込



対象

東北地区の大学・研究機関の研究推進部門の職員・URA、附属図書館の職員、情報基盤センターの職員、および、研究データ管理に関心を持つ研究者、院生、職員等(東北地区以外からの参加も大歓迎です)



開催概要

2026 2.27(金) 13:00開場

プログラム 司会: 東北大学データシナジー創生機構 元木 正和

【第一部】 講演・パネルディスカッション(ハイブリッド開催) 13:30~15:30

テーマ 「海外派遣から見た研究データ管理の現在地」

1	開会挨拶、趣旨説明	元木 正和 : 東北大学 データシナジー創生機構 准教授	13:30~13:35
2	東北コンソーシアム海外派遣報告会	篠田 知暁 : 東北大学 データシナジー創生機構 特任講師 児玉 芽生 : 国立情報学研究所 学術コンテンツ課 研究データ基盤整備チーム SOW BOUBACAR : 東北大学 リサーチ・マネジメントセンター 特任助教	13:35~14:30
	1) ライトニングトーク	泊川 晃 : 東北大学 附属図書館	
	2) 討論「支援職が海外に行くべき理由」	中島 大 : 東北大学 附属図書館	
3	IDW2025とeResearch2025に見る研究データの実際の利用に向けた取組みの最前線	船守 美穂 : 鹿児島大学 附属図書館オープンサイエンス研究開発部門部門長 特任教授 国立情報学研究所 情報社会相関研究系 准教授	14:30~15:25
4	閉会挨拶	菅沼 拓夫 : 東北大学 データシナジー創生機構 副機構長	15:25~15:30

【第二部】 講演・情報交換会(会場のみ)

15:45~16:45

1	地方大学にとって意味のあるオープンサイエンスの施策とは? —鹿児島大学における1年目のあがき	船守 美穂 : 鹿児島大学	15:45~16:05
2	情報交換会	ガイド役: 元木 正和 : 東北大学	16:05~16:45

【意見交換会】 18:00~20:00 仙台駅付近



参加申込

参加ご希望の方はQRコードまたは、下記URLよりご登録ください。(申込締切: 2.24(火) 15:00)

<https://forms.gle/gp8QaUmqNEwEyFmS7>



イベントURL : <https://consortium.rdx.tohoku.ac.jp/event>

お問合せ先 : 研究データエコシステム東北コンソーシアム事務局

Email : [rdm-consortium-office@grp.tohoku.ac.jp](mailto:rdm-consortium-office@grp.tohoku.ac.jp)

